缶バッジになったギュっとちゃん!!

賛助会員のSAFETY24様が、警察庁被害者支援マスコット「ギュっとちゃん」の缶バッジを作成、あいポートに寄贈くださいました。大きさも手ごろで、様々な場面で使用させていただいています。

ピカッと光る「あいちゃん」のストラップ

あいポートのマスコットキャラクターのゾウのあいちゃんを、ストラップにしました。反射材で作られているので、車のライトに当たると自分の居場所を運転手に知らせて、交通事故防止に役立ちます。「命の大切さを学ぶ教室」の聴講者へお配りしました。

X(旧:Twitter)

X(旧 Twitter) **@aiport7830**
X(旧ツイッター)では、主にあいポートの活動に賛同し、支援をしてくださる方々をご紹介します。

Facebook

Facebook(フェイスブック)では、あいポートの活動やお知らせを随時更新しています。
あいポートのFacebookページをご覧いただき、ぜひ**「いいね!」**をお願いします。

電話相談

052-232-7830（なやみぜろ）
月曜日～金曜日/10:00～16:00
祝日、年末年始(12/29～1/3)を除く

時間外はこちら：全国共通ナビダイヤル
0570-783-554
7:30～22:00 年末年始(12/29～1/3)を除く
※被害者支援センターの開設時間内はお住いのエリアの被害者支援センターにつながります。

賛助会員随時募集中!

あいポート賛助会員ご入会

- 個人(一口)10,000円／年
- 法人(一口)50,000円／年

寄付はいくらからでも

事務局(052-232-7834)もしくは
下記ホームページでお申し出ください。

ご寄付は下記口座まで、ATMからお振込いただけます。

金融機関名	三菱UFJ銀行
支　店　名	愛知県庁出張所
預金種目	普通
口座番号	1133138
口　座　名	運用財産口 社) 被害者サポートセンターあいち
フリガナ	ウンヨウザイサングチ シヤ) ヒガイシャサポートセンターアイチ

※ATMご利用で、振込手数料はかかりません。

編集後記

今号の表紙に協力くださった、切り絵作家の小谷氏は、平成26年センター主催の被害者支援チャリティ作品展でもご出品いただき、被害者支援にたいへんご理解いただいております。独学で切り絵を学び35年、切り絵を通じて様々な方と交流できた事が、かけがえのない宝とおっしゃっていました。今回、お話を伺って、センターの寄付型自動販売機の設置やホンデリングなどが寄付へと結びつくのは、いろいろな方々のつながりから生まれる事が多いと改めて気づきました。ご協力に携わる人々の思いが生み出す浄財。大切に被害者支援活動に使わせていただきます。

表紙を飾る写真など、提供していただける方は、
事務局☎052-232-7834までご連絡ください。

「あいポートNews」発行所　公益社団法人 被害者サポートセンターあいち（愛称:あいポート）
〒460-0002 名古屋市中区丸の内二丁目14番21号　TEL:052-232-7834　FAX:052-232-7835
https://www.higai7830.or.jp/

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

あいポートの愛称は、「あい(愛)」という「ポート(港)」に支援を必要とする人々が気軽に集い、心のよりどころになって欲しいという意味が込められています。

あいポートNews

No.39
令和6年3月発行
愛知県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体
公益社団法人 被害者サポートセンターあいち

切り絵提供：小谷精鋭氏（切り絵作家）足助の街並み～信州と三河を結ぶ中馬街道の宿場町の面影が残る～

ごあいさつ

愛知県警察本部
住民サービス課長
伊東（いとう） 宏政（ひろまさ） 氏

昨年12月に、愛知県警察本部住民サービス課長に着任いたしました伊東でございます。よろしくお願いいたします。犯罪被害者等支援活動に日々ご尽力されている被害者サポートセンターあいちの皆様、そして、この活動にご協力いただいている会員の皆様におかれましては、平素から犯罪被害者等への献身的な支援に加えまして、警察業務の各般にわたり、深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

県警察では、犯罪発生直後から被害者やそのご家族と接し、犯罪被害者等のニーズに応えた直接的支援のほか、心理職員によるカウンセリングの実施等の精神的支援、各種公費負担制度や犯罪被害給付制度の運用による経済的支援など、幅広く各種支援制度を構築するとともに、県民に被害者支援の重要性等を広く知ってもらうための広報啓発活動を行っておりますが、警察だけでは対応しきれない中長期的な支援につきましては関係機関・団体との連携、協力が必要不可欠であると考えております。

そのような中、被害者サポートセンターあいちの支援活動は、私ども行政機関や民間営利団体では満たすことのできない被害者等を始め、社会のニーズに対応する多様なサービスを柔軟に提供することができ、その果たすべき役割はますます重要になっています。県警察としましては、引き続き、被害者サポートセンターあいちをはじめ、関係機関・団体との連携を密にし、犯罪被害者等に寄り添った支援活動に取り組んで参ります。なにとぞ皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。

「犯罪被害者週間」(毎年11月25日～12月1日)の取り組み

期間中の集中的な啓発事業等を通じて犯罪被害者等が置かれている状況や、支援の重要性を知っていただきました。

犯罪被害者支援特別講演会2023の開催

令和5年11月10日(金)中区役所ホールにて、連携機関の集合体である、犯罪被害者支援連絡協議会主催で、犯罪被害者ご遺族講演や、被害者支援のパネル展などが開かれました。あいポートのブースで来場者にリーフレットなどを手渡して広報に努めました。

開会のあいさつをするあいポート田中会長

広報活動をするあいポート支援員

募金活動を行いました

加害者がいれば、そこには必ず被害者がいます。名古屋刑務所や豊橋刑務所の矯正展にて、あいポートの活動を知っていただけるよう、来場者の皆さんに声をかけ、広報グッズとともに、リーフレットを手渡しました。募金活動にもたいへんご協力いただきました。ありがとうございます。

R5.10.21～22 名古屋刑務所みよし矯正展

R5.11.11 豊橋刑務所矯正展

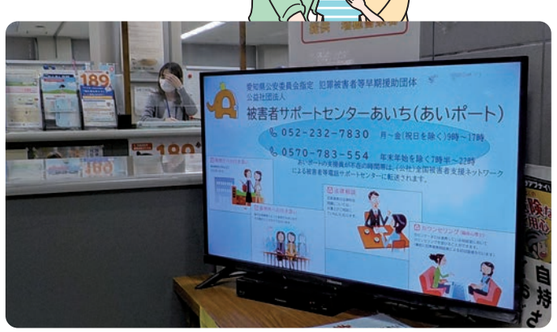
今年も市営地下鉄のホーム柵に登場

東山線の星ヶ丘、名城線の平安通、八事日赤、栄、大曽根、名古屋城(女性専用乗車口)桜通線の吹上の各駅の防護柵にポスターを掲載しました。あいポートの周知を図るとともに「名古屋市犯罪被害者等入門講座」の告知をしたところ、広告を見て受講していただいた方が数名いらっしゃり、成果を上げることができました。

地下鉄広報

瑞穂区役所での広報

被害者週間に先がけ、瑞穂警察署の取り組みで、区役所の受付近くに、デジタルサイネージを設置。あいポートの周知をしていただきました。



瑞穂区役所

「命」を見つめなおす

学校や企業などで、犯罪被害者のご家族から、被害に遭うとどうなるか、どんな支援が必要かについて直接お話を伺います。
当たり前にあった日常が、実は、当たり前ではないことに気づかされます。

「命の大切さを学ぶ教室」開催結果

令和5年度 開催校

日付	企業団体	講師(敬称略)	聴講者数
4月25日	豊川市立南部中学校	則竹崇智	230
5月11日	県立小牧工科高等学校	則竹崇智	650
5月15日	愛知産業大学工業高等学校	則竹崇智	1150
5月25日	幸田町立幸田中学校	佐藤逸代	620
5月29日	県立春日井高等学校	則竹崇智	1010
5月31日	愛知みずほ大学瑞穂高校	佐藤逸代	380
6月12日	県立津島北高等学校	則竹崇智	330
6月19日	滝学園滝高等学校	一井彩子	400
6月23日	豊橋市立南陽中学校	一井彩子	540
7月5日	豊橋市立南稜中学校	佐藤逸代	670
9月14日	名古屋市立千鳥丘中学校	則竹崇智	410
10月3日	名古屋経済大学高蔵高等学校	佐藤逸代	480
10月18日	学校法人尾関学園誉高等学校	磯谷富美子	420
11月2日	名古屋経済大学高蔵高等学校	佐藤逸代	380
11月6日	小牧市立桃陵中学校	則竹崇智	160
11月9日	県立渥美農業高等学校	則竹崇智	320
11月13日	県立豊明高等学校	永谷博司	1020
11月20日	長久手市立南中学校	佐藤逸代	1020
11月20日	県立長久手高等学校	佐藤逸代	990
11月30日	県立豊田工科高等学校	一井彩子	220
12月4日	岡崎市立連尺小学校	一井彩子	690
12月5日	県立成章高等学校	永谷博司	610
12月7日	扶桑町立扶桑北中学校	則竹崇智	470
12月8日	学校法人愛知学院愛知中学校	佐藤逸代	540
12月14日	弥冨市立弥冨中学校	永谷博司	670
12月21日	県立渥美農業高等学校	志賀公子	160
3月4日	東浦町立東浦中学校	佐藤逸代	250

令和5年度 企業講演

日付	企業団体	講師(敬称略)	聴講者数
5月26日	株式会社アルクス	志賀公子	100
7月5日	愛知県警備業協会	則竹崇智	150
8月23日	トヨタ自動車株式会社 保見研修センター	則竹崇智	250
10月31日	小牧少年補導委員会	佐藤逸代	40

生徒さんたちの感想抜粋

●辛い思いや苦しい思いをする人が、いなくなる社会を作っていくことが私たち若者の課題なのではないかと思います。(高1男子)

●普段何もなく過ごしているけれど、突然事件が起きることや周りにいる友達や家族、当たり前の生活が一瞬にして当たり前でなくなる怖さを感じました。(高3女子)

●この事件に関しては、私達高校生も被害者になる可能性が十分あります。なのでこのような貴重なお話を聞かせていただいてとてもありがたかったです。(高3女子)

●1つの小さな行動で人の命を奪ってしまい、その遺族の人たちも悲しいことになる。自分がもし、という立場で聞いて絶対に人を傷つけないために何をしないといけないかを考えたい。(中1男子)

●今日の講演を聴いて、それは体験しないと感じることができない感情だと知りました。もし周りにそういう人がいたときは、無理に同情するのではなく、本人は普段の状態ではないと思うので、近くにいてあげられるようになりたいです。(中3男子)

●自分も友達もかけがいのない存在であること、たった1つしかないかけがえのない命を大切に生きること、家族への感謝の気持ち(ありがとう)を忘れないことなど、貴重な命の学習をすることができました。(中2女子)

磯谷富美子氏の講演(誉高等学校)

則竹崇智氏の講演(名古屋市東文化小劇場)